

2016年2月25日

**味の素冷凍食品(株)、「ギョーザ」製品の売上げの一部を
東北の農業復興支援として寄付
継続支援で東北を応援！
～5年目の『東北に元気を！明日を耕すプロジェクト』～**

味の素冷凍食品株式会社（社長：吉峯英虎 本社：東京都中央区）は、2011年の震災から5年目の今年度も引き続き『東北に元気を！明日を耕すプロジェクト』（参考資料参照）を実施しています。昨年10月から1カ月間実施した「ギョーザ」製品の売上げ1袋あたり1円を支援金として寄付する同プロジェクトの支援金総額6,753,000円を、東北地方の農業復興支援を行っている団体に寄付します。支援金は、震災により被害を受けた東北地方の農業復興支援の一部として活用されます。



【支援金寄付実施概要】

1. 支援金総額：6,753,000円 [参考：5年間の総額 85,942,000円]
2. 贈呈式（予定）
日程：2016年3月5日（土）
場所：福島県酪農業協同組合（福島県本宮市仁井田）
3. 寄付団体概要：

特定非営利活動法人「福島農業復興ネットワーク」

福島県で暮らす人々に対して、農業を通じて生涯安全・安心な生活が送れるよう、また誇りをもって地域で生きていくことができるように支援する事業を行い、活力ある地域社会の実現に寄与することを目的としています。全国に先駆けた酪農モデルとして「健全な土と草と牛を育て、真心込めた自然の恵みを食卓に届け、消費者の笑顔と心をつなげる」牧場の構築を目指しています。

支援団体の活動や、当社社員が参加したボランティアツアーの様子など、農業支援の状況等は定期的に当社ホームページやFacebookでお知らせしています。

2015年度支援プロジェクト活動レポート

特定非営利活動法人
がんばろう福島、農業者等の会

支援団体紹介▶

↑【ホームページ】

<https://corporate.ffa.ajinomoto.com/atp/>

【Facebook】

<https://www.facebook.com/ffa.ajinomoto>

→



参考資料

【味の素冷凍食品「ギョーザ」『東北に元気を！明日を耕すプロジェクト』概要】

1. 実施内容：

「ギョーザ」製品（4品種）の売上げに対し1袋あたり1円を、支援金として東北地方の農業復興支援を行っている団体に寄付します。この支援金は、震災により被害を受けている東北地方の農業復興支援の一部として活用されます。

2. 対象製品：

「ギョーザ」「もちもち厚皮 水餃子」

「なにわのおつまみ餃子30個」※ 「なにわのおつまみ餃子50個」※ 計4品種

※「なにわのおつまみ餃子30個」「なにわのおつまみ餃子50個」は、共に宅配向け品種です。

3. 2015年度の対象期間：

2015年10月1日（木）～2015年10月31日（土）（左記期間の当社出荷分が対象）

4. 過去4年間の支援金について：合計 79,189,000円

年度	支援金額	支援団体
2011	21,257,000円	特定非営利活動法人 農商工連携サポートセンター 特定非営利活動法人 遠野まごころネット 公益財団法人 日本財団※
2012	28,268,000円	特定非営利活動法人 農商工連携サポートセンター 特定非営利活動法人 田んぼ 特定非営利活動法人 ザ・ピープル
2013	22,269,000円	特定非営利活動法人 ザ・ピープル 特定非営利活動法人 みやぎスマートアグリ 農事組合法人 クローバーズファーム
2014	7,395,000円	特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会

※同財団が選定した「特定非営利活動法人 農家のこせがれネットワーク」に、同財団を通じて助成を行いました。

【支援団体への支援金贈呈式の様子】



（右）味の素冷凍食品㈱ 竹内取締役常務執行役員（当時）
（左）特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会 齊藤登理事長
～二本松市 市民交流センターにて～

（2015年3月）

【当社社員ボランティアの活動の様子】



きゅうりの収穫作業
（2015年7月）



田んぼの除草作業
（2015年7月）



稲の刈り取り作業
（2015年11月）